

ＪＡバンク長崎における地域密着型金融の取組状況（平成 23 年度）

ＪＡバンク長崎（長崎県下ＪＡと農林中央金庫長崎支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 22～24 年度ＪＡバンク長崎中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 23 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （ＪＡバンク長崎の農業メインバンク機能強化への取組み）

ＪＡバンク長崎は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（１）農業融資商品の適切な提供・開発

ＪＡバンク長崎は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 24 年 3 月末時点のＪＡバンク長崎の農業関係資金残高^{（注 1）}は 27,676 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注 2）}残高は 3,335 百万円を取扱っています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に關係する事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）ＪＡバンク長崎が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、ＪＡ転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

	24 年 3 月末現在
農業	26,609
穀作	672
野菜・園芸	2,351
果樹・樹園農業	1,033
工芸作物	442
養豚・肉牛・酪農	4,972
養鶏・鶏卵	21
養蚕	8
その他農業(注 1)	17,110
農業関連団体等(注 2)	1,067
合計	27,676

（注 1）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

（注 2）「農業関連団体等」には、ＪＡや全農とその子会社等が含まれています。

【資金種別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	24年3月末現在
プロパー資金(注1)	18,611
農業制度資金(注2)	9,065
農業近代化資金	4,483
その他制度資金(注3)	4,582
合 計	27,676

(注1) プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2) 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク長崎が低利で融資するもの、日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここではの転貸資金とを対象としています。

(注3) その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	24年3月末現在
日本政策金融公庫資金	3,335
そ の 他	0
合 計	3,335

(注) JAバンク長崎では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【長崎県の農業近代化資金および公庫受託貸付のシェア】

農業近代化資金(平成23年12月末)

JAバンク長崎 98.8%

公庫受託資金(平成24年3月末)

JAバンク長崎 17.5%(公庫直貸分を除いた民間金融機関内シェア 62.1%)

(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク長崎では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内7JAの本店には7人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

農林中央金庫長崎支店では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

(3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合

同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク長崎は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取り組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク長崎では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 (単位：件、百万円)

	平成 23 年度 実行件数	平成 23 年度 実行金額	平成 24 年 3 月末 残 高
新規就農支援資金	5	2 2	4 5 6
その他			
合計	5	2 2	4 5 6

(2) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンク長崎では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成 23 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】 (単位：先)

	期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再 生計画を策 定した先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c	事業計画策 定率 = a / A	ランクアッ プ率 = b / A	
正常先	7 8	0		6 6	0.0%		
要 注 意 先	うちその他要 注意先	6 9	0	1 0	4 4	0.0%	14.5%
	うち要管理先	7 9	0	3 1	3 4	0.0%	39.2%
破綻懸念先	6 8	2 1	1 2	4 6	30.9%	17.6%	
実質破綻先	9 4	0	7	7 3	0.0%	7.4%	
破綻先	6	0	2	4	0.0%	33.3%	
	小計(~ の 計)	3 1 6	2 1	6 2	2 0 1	6.6%	19.6%
	合計	3 9 4	2 1	6 2	2 6 7	5.3%	15.7%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 23 年 3 月末時点でのものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンク長崎では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク長崎では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 23 年度負債整理資金の貸出実績】 (単位 件, 百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 24 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	5	5 2	3 9 1
畜産特別資金	1	1	1 8 4
負債整理資金	4	2 2	2 , 0 8 1
その他			
合計	1 0	7 5	2 , 6 5 6

(注)

- 1 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- 2 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(2) 動産担保融資の活用

J Aバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

長崎県における融資の実績は次表のとおりです。

【長崎県における平成 23 年度活用実績】 (単位 件, 百万円)

	平成 23 年度	
	件数	残高
農産物		
畜産物	4 3	4 0
機械設備		
その他		
合計	4 3	4 0

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク長崎では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っております。

(1) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク長崎は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の小学校 383 校へ、17,130 冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下 J Aでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【ＪＡバンク食農教育応援事業による活動内容】

ＪＡ名	活動名	活動内容
長崎せいひ	農業体験	稲作・果樹・野菜の栽培
ながさき県央	農業体験	じゃがいも収穫体験
島原雲仙	稲作体験等	稲作および畑作体験等
ながさき西海	大豆栽培・みそ作り体験等	大豆栽培およびみそ作り体験等
ごとう	さつまいも栽培等	いも苗の植え付けから収穫までの体験等
壱岐市	農業体験スクール	地元小学生全員による農業体験スクール（水稻作付・収穫）の開催
対馬	学童畑作体験	小学校全学年別にさつまいも，ブロッコリー等の植え付けから収穫までの体験

以上